



学校の教育目標 「じりつする子供の育成」

<http://nyuzen-e.el.tym.ed.jp/>

令和2年6月29日

E-mail [nyuzen-es@tym.ed.jp](mailto:nyuzen-es@tym.ed.jp)

校長 朝倉 浩一

## 大規模改修工事Ⅱ期

先週から、大規模改修工事Ⅱ期が始まりました。主な工事箇所は、次の通りです。

- ・学童保育室を現在の学童室の横の東側体育館トイレとの間に新規に作る。
- ・1階の児童玄関、職員室、通級教室、ひまわり級等を改修する。
- ・2階の現在3年生が使用している教室、学習センター、コンピュータ室、放送室、習字室等を改修する。

### <仮設の施設>

工事に伴い、児童の学習環境が次のように変化します。

- ・ランチルーム内に仮の学童保育室になります。出入口は、これまでと同じです。
- ・児童玄関の工事に伴い、児童の出入口は1年教室横のひまわり級や通級指導教室として使っていたところになります。7月の中旬ごろからの使用となります。入り口も狭く風雨をしのぐ場所もなく、不自由をおかけしますご理解ください。
- ・児童玄関を含む校舎西側には、周囲を囲むように足場が設置されます。児童の皆さんが安全に登下校、グラウンドとの行き来ができるよう足場の中にトンネルのよう通路がつけられます。学校でも安全に関する指導は行いますが、ご家庭でもお話しいただければと思います。また、足場が作られ、工事用の資材や機器、車両等が往來するため、玄関周辺は駐車ができなくなります。送迎時は、体育館横の駐車場をご利用ください。職員や工事関係者も利用するため、安全には十分ご注意ください。
- ・職員室も工事の対象となっております。当分は現在のままですが、いずれ現在の学童保育室（旧音楽室）に移動することになります。近付きましたらご案内しますが、ご注意ください。



仮設の児童玄関予定地（1年教室横）

### <工事内容>

- ・学童保育室の工事に伴い、壁や床のコンクリート等を砕くため、大きな音や振動が発生するそうです。工事関係者にはできるだけ作業の時間帯等の工夫をお願いしていますが、どうしても避けられないこともあります。ご心配をおかけしますが、できる限りの配慮を心がけたいと思います。
- ・校舎内はⅠ期工事でできたような教室へと生まれ変わる予定です。また外壁もきれいに塗装されます。



新学童保育室建設予定地

# 1学期の成績について

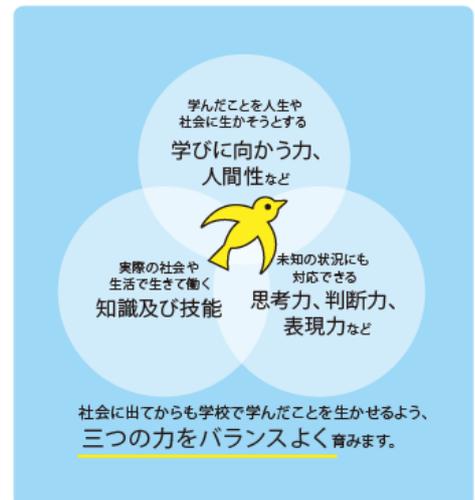
## <学習指導要領>

今年度から改訂された小学校学習指導要領が全面実施されています。新型コロナウイルス感染症への対応や臨時休校に伴う学習課題、授業と児童や教職員は精一杯取り組んできました。学校の再開から一ヶ月以上が経ち、おおむね落ち着いた感がありますが、教科によっては3密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避けることができず、学習の場所を屋外にしたり、学習内容の時期を変更したりと学習を工夫し、窓を開けて換気をしながら、エアコンを使って室温を下げたりと一見無駄なようなことをしながら、感染予防に取り組んでいます。

今年度から全面実施される学習指導要領に込められた文部科学省の考えと学期末の評価について記載します。

### ○改訂に込められた思い(文部科学省)

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていききたい。2020年度から始まる新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。これまで大切にされてきた、子供たちに「生きる力」を育む、という目標は、これからも変わることはありません。一方で、社会の変化を見据え、新たな学びへと進化を目指します。



### ○3つの力をバランスよく

- ・何ができるようになるの → **学びに向かう力、人間性**など
- ・どのように学ぶの → **思考力・判断力・表現力**など
- ・何を学ぶの → **知識及び技能**

### ○観点別学習状況の評価について

昨年度までは、4つの観点（国語は5つ）「**関心・意欲・態度**」「**思考・考え方**」「**技能**」「**知識・理解**」（教科により表現が異なる）について、それぞれ

A：十分満足できると判断されたもの

B：おおむね満足できると判断されたもの

C：努力を要すると判断されたもの

の、3段階で評価されてきました。

今年度からは、先ほどの3つの力について評価することになり、

「 <b>知識・技能</b> 」	単に知識や技能を身に付けただけではなく、実際に知識や技能を用いる場面での学習状況を捉えて評価します。
「 <b>思考・判断・表現</b> 」	話し合いや制作、表現などの多様な活動の積み重ねから、学習活動を捉え、評価します。
「 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> 」	紙媒体への記述や発言、行動観察に加え、自己評価や他者評価などを総合的に捉えて、評価します。

の3つ観点となります。その詳細については、学期末に「あゆみ」とともに配布させていただきます。